

2024年度 メリー★ポピンズ 豊洲ルーム 事業計画書

1. 基本方針

園目標・・・「園に携わるすべての人が『幸せ』を感じられる園」

社会が急速に変化し続ける現代。デジタル技術やものなどが豊かになる一方、貧困や気候変動など地球規模での問題が広がる中で、私たちの「幸せ」が次第にわかりにくくなっている。

そのような現代ではあるが、今日も変わらず子どもたちは一瞬一瞬を大切にしながら自分だけの人生を主人公として力強く歩んでいる。

その子どもたちにとっての「幸せ」とは何か。子どもたちの「幸せ」のために私たち大人（保育者・保護者・地域）ができることは何か。そういったことをスタッフ一人ひとりが常に考えながら日々の保育を展開できるようにしていく。

その為にも、子育てを行う大人（保育者・保護者・地域）が幸せであること。子どもたちに挑戦する姿や日々をポジティブに過ごす姿を見せ、子どもたちが憧れを抱けるような存在になること。

「園に携わるすべての人が『幸せ』を感じられるように」保育・教育・子育て支援・環境作りを行っていく。

上記を念頭に置き、以下を重点として保育・子育てを展開する。

- ①生活力の体得
- ②10の姿の体得
- ③子ども自らがいつでも経験を選び取ることができる物的環境の設定・保育環境の充実
- ④職場環境の充実
- ⑤子育て支援

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	生きるための基礎を育む (寝て、起きて、食べて、動く＝歩く・探索・遊ぶ・労働)
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した生活リズムの確立（園・家庭） ・個別に配慮した保育 ・日課・基本活動の実施 ・スタッフ一人ひとりが必要だと考えた年間行事
2	計画・ねらい	愛着関係（特定の大人との間に結ばれる情緒的な絆）を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・身体接触をベースにしたサポート ・スキンシップ ・すべての大人ですべての子どもを見守る ・養護の重要性の理解 ・養護と教育の一体的な保育
3	計画・ねらい	10の姿（非認知能力）の基礎を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもを肯定的に捉える ・子どもの「やりたい」や探索活動を保障する

		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの活動・行動（学び）のプロセスを大事にする ・子ども一人ひとりの性質や能力を捉え、伸ばしていく ・10の姿を意識したスタッフ間の対話と計画・振り返り
--	--	--

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者の立場に立つ
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常に相手の気持ちに寄り添い、最高に幸せとさせていただけるように接する ・誰が見ても気持ちのよい清掃と整理整頓を心がける ・コンピテンシーチェック実施
2	計画・ねらい	子どもを「どう理解し、どう関わるか」といった保育者の専門性を活かした支援に努める
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の理解 ・子ども理解 ・保育の見える化 ・押しつけではない、選択肢が保護者側にある「提案」
3	計画・ねらい	保護者が穏やかで安定して精神的に健康な状態で子育てができるように支援する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的ではないコミュニケーション（聴く・寄り添う・思いやる・共に考える・提案・尊重） ・個別に配慮した保育 ・保護者自身の悩みや苦勞に寄り添う ・保護者目線の子育てサービスの提供

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	ビジター利用の子どもに対する配慮の行き届いた柔軟な保育を展開する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジター利用児の柔軟な受け入れ ・保護者との連携 ・家庭での生活や生活のリズムへの配慮 ・子どもの心身の状態への配慮 ・スタッフ間での子どもの姿の共有
2	計画・ねらい	地域子育て家庭のつながりの場となる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン ・青空保育 ・育児講座・育児相談 ・地域行事 ・地域資源の有効活用
3	計画・ねらい	保育所保育の専門性を活かした子育て支援を行う
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン ・青空保育 ・育児講座・育児相談

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	「対話」を通じて、園全体で保育を振り返る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修 ・相手を否定しない ・保育記録の共有 ・ファシリテーターの育成
2	計画・ねらい	チームで「協働」して課題解決をする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のミッションやビジョン、目標の共有 ・ミドルリーダーの育成 ・スタッフの役割・責任を明確にする ・スタッフの主体性や多様性の尊重
3	計画・ねらい	「主体的」に学び、行動する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成 ・園内研修実施 ・外部研修受講 ・個人面談・フィードバック面談

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	食（食材）を有効活用する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給食残差を2022年度4月1日時点の70%に減らす ・給食食材のカット方法の変更・皮付き調理・皮の有効活用 ・コンポスト
2	計画・ねらい	園児・スタッフが協同で食材を加工する
	実践予定内容	・食材の加工（梅・味噌・たくあん）
3	計画・ねらい	園児・スタッフが協同で畑仕事や生き物の世話をする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・畑仕事（種まき、育てる、間引く、獲る） ・北千住どろんこ保育園への移動保育 ヤギ・鶏などの生き物の世話（小屋掃除・糞の始末）・コンポスト
4	計画・ねらい	木に親しむ
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩コースにどんな木があるのか、花や実はどのようなものかを子どもたちと会話する ・いろいろな種類の木材を集めて、色や香り、手触り等の違いを楽しむ ・散歩で拾ってきた木材を子どもたちが手に取って使えるように室内に配置する

〈6〉保育環境（物的環境・人的環境）の充実

1	計画・ねらい	子どもにとって安心・安全な保育者になる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもの欲求を的確に満たした応答的なかわり ・子どもの気持ちを受容した共感的なかわり ・集団全体への配慮
2	計画・ねらい	子どもが求めていることは何かを見極めて関わる

	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・この子はいま何をしてほしいのか、何を求めているのかを常に観察し、感じ取る ・この子にどのように関わるべきかを繰り返し考える ・子ども理解
3	計画・ねらい	様々なことやものに関心や好奇心を広げていけるような環境を構築する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって豊かな環境や文化、社会に出会えるようにする ・子どもの発見や出会いを大切に散歩 ・発達の理解 ・子どもを肯定的に捉える ・共感的なかかわり ・子ども理解 ・全スタッフによる定期的な環境の見直し・構築
4	計画・ねらい	子どもたちの興味・関心、学びに沿った環境を構築する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいま何に興味・関心をもち、何を学ぼうとしているのかを常に理解しようとする ・発達の理解 ・子どもを肯定的に捉える ・共感的なかかわり ・子ども理解 ・全スタッフによる定期的な環境の見直し・構築

〈7〉 職場環境の充実

1	計画・ねらい	心理的安全性の高い風土を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・挑戦を応援する ・失敗＝学びとする ・感謝を言葉で表す ・善意・親切をつなげる ・個性を尊重し、得意を活かす ・対話的な園内研修 ・個人面談・フィードバック面談
2	計画・ねらい	意見の違いを賞賛する文化を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を否定しない ・相手の立場や背景を理解しようと努める ・リフレクション ・メタ認知 ・対話的な園内研修
3	計画・ねらい	自ら目標を設定して行動できる起業家精神を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織のミッションやビジョンの共有 ・目標設定と目標管理 ・挑戦を応援する ・失敗＝学びとする ・園全体での保育の振り返り

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	11人	13人	3人	1人	0人	34人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	8人	看護師	1人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	0人	補助	0人	調理	0人	事務	0人
	用務	0人						

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 20分	保育内容・子どもの様子・行事・園内研修など
給食運営会議	月1回	食育活動・子どもの発達・食事の様子
事故防止委員会	月1回	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の分析
ケース会議	月1回	個別支援計画を基に、対象児への支援を深める

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	どろんこ会グループ統一の事案の共有と意見交換
施設長勉強会	月1回	施設長のスキルアップを目的とした内容
食育会議	年4回	献立内容の改善・提案、給食提供マニュアル及び運用ルー

		ルの作成、見直し
保健会議	年4回	感染症対策やガイドラインの作成・改善
子育ての質を上げる会議	月1回	職員のスキルアップ・保育の質向上を目的とした内容

〈3〉各種系の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	衛生点検、保育室の環境整備
安全対策係	設備・事故防止点検、保育室の安全管理
防火管理者	避難訓練の計画・実施、自主点検
食品衛生責任者	衛生点検、調理室及び食品の管理
畑係	畑状況の管理、道具類の維持補充、畑活動の把握・計画
生き物係	生き物の世話、飼育計画

〈4〉行事別系の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	どろんこ祭りの計画・実施
ちきんえっぐ係	ちきんえっぐ（地域子育て支援）の内容企画立案など

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な行動や欲求に適切に応え、特定の大人との情緒的な絆を形成する ・保育者に見守られ、探索活動を楽しみながら、様々な感覚を育む
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な大人との安定した関係の下、ひとり遊びを十分に楽しみながら、自我が芽生える ・活動範囲が広がり、様々なものとふれあうことで、五感を通して興味・探求心を育む
幼児保育	上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身に付け、喜びながら意欲的に生活する

	3～5歳児	・友達との関わりを広げ、集団で行動する事を楽しむ
	下半期 2～5歳児	・異年齢で生活をする中で思いやりの心、協力し合う心を養うと共に達成感を味わう ・自分の思いを十分に表現し、相手の思いも受け入れながら、生活や遊びを築いていく
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	楽しい食事を通して、健康な心と体を育む
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング ・すべての人（園児・スタッフ）で一緒に食卓を囲む ・季節や行事にあった食事の提供 ・五感を通した食材・食とのふれあい ・個々の発達や欲求に応じた食事の提供（形態・食具の選択・介助の方法） ・食材の加工 ・クッキング
2	計画・ねらい	「お腹空いた」「食べたい」と、自分でその感覚を感じ取り、自ら食事に向かえるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日課・基本活動の実施 ・畑仕事 ・散歩9時出発 ・長距離散歩 ・安定した生活リズムの確立
3	計画・ねらい	0歳児～保育者まで、集団で一緒に食べることで、食べる意欲や食べる方法など、食の営みを築いていけるようにする
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バイキング ・すべてのスタッフが子どもと一緒に食べる

	<ul style="list-style-type: none"> ・見て真似る（学ぶ）ことができる環境構築 ・食を通じた豊かな言葉かけ・コミュニケーション
--	---

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	実施なし
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	日々の手洗い、うがい、歯磨き
流行が予測される感染症	<p>通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 4～9月頃・・・手足口病・ヘルパンギーナ 6～10月頃・・・マイコプラズマ肺炎 7～10月頃・・・咽頭結膜炎・流行性結膜炎 11～5月頃・・・水痘・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 11～3月頃・・・インフルエンザ・感染性胃腸炎 1～6月頃・・・伝染性紅斑 3～4月頃・・・麻疹・風疹 1年を通して・・・突発性発疹・流行性耳下腺炎など</p>
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・預かり可能／冷暗所にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在8名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員2名については3月21日までに受講予定
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 （備蓄品点検含む）	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日

衛生管理	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1.基本方針〈6〉〈7〉に記載事項も大切に取り組んでいく

1	計画・ねらい	子どもの主体性を保障するために保育者の主体性と連携を強化する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対する願いと責任をもって保育をする ・日々の保育の計画と振り返り ・保育記録 ・園全体での保育の振り返り ・すべての子どもをすべてのスタッフで見守る
2	計画・ねらい	子ども自らがいつでも経験を選び取ることができる物的環境を保障する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・玩具・教材・触れるべき様々なものを常設する ・子どもが自分の意志で自由に各保育室を行き来できる生活を保障する
3	計画・ねらい	子どもの姿をよく（善く）捉え、子どもにとって必要な生活や遊びの環境を整え、働きかけていく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントの形成 ・子どもがいま何に興味・関心をもち、何を学ぼうとしているのかを常に理解しようとする ・この子はいま何をしてほしいのか、何を求めているのかを常に観察し、感じ取る ・子どもの活動・行動（学び）のプロセスを大事にする

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具の設置なし

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	避難訓練（地震・火災）月1回15日
2	実践予定内容	不審者侵入訓練 6月・12月
3	実践予定内容	事故防止チェックリスト 4月・7月・10月・1月
4	実践予定内容	設備点検チェックリスト 4月・7月・10月・1月
5	実践予定内容	誤飲・誤嚥防止チェックリスト 4月・7月・10月・1月
5	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデント・事故記録簿の記入、閲覧、分析
6	実践予定内容	午睡時の生存確認 毎日
7	実践予定内容	光化学スモッグ注意報発令情報確認 発令時
8	実践予定内容	室内・公園・散歩ルートの手帳マップ作成 4月 見直し 7月・10月・1月
9	実践予定内容	施設長の散歩同行・OJT

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

・次世代育成の観点から、積極的に受け入れを行い、実習生や生徒の1人ひとりの様子に合わせて具体的かつ家庭的に援助・指導を行う。また、未来の親として、「子ども(乳児)」を知ってもらおうと共に、子どもの愛おしさや力強さを感じてもらう。

・温かい雰囲気と丁寧な受け答えや指導を心掛け、まずは「保育って楽しい」といった、机上の学びとは異なる魅力を感じてもらえるように努める。

・社会で働く者としてのマナーや専門職としての責務を見本となって伝えていく。

1	実践予定内容	中高生の体験学習受入
2	実践予定内容	保育養成学校の学生の実習受入
3	実践予定内容	ボランティアの受入



7. スタッフ育成と研修計画

・スタッフ一人ひとりが、必要だと感じる事・学びを深めたい事・同僚に伝えたい事を持ち寄り、主体的に研修を実施できるようにする。

・園の課題や改善したい事、伸ばしていきたい事などを保育者それぞれの視点から発信し合い、全スタッフがそれらを「他人事」ではなく「自分事」と捉え、対話を通して主体的に取り組んでいけ

ようにする。

・対話を通して園全体で保育を振り返り、同じ方向を向いて、より良い保育（保育の質向上）に取り組んでいけるようにする。

新人研修	新入社員研修	スタッフ研修
<ul style="list-style-type: none"> ■入社時オリエンテーション ■現場OJT研修 ■保育品質マニュアル研修 (事務研修・ケガケーススタディ研修含む) ■コンピテンシー研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■新入社員研修 → 会場研修 → 系列園保育実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■全社員研修 (年1回) ■園内研修 (月1回以上) ■保育スキル研修 (エリア別) ■リーダー養成研修 (9~2月) ■業務改善研修 (月1回) (=保育の質を上げる会議) ■施設長勉強会 (月1回) ■デンマークインターンシップ (年1回) ■コンピテンシー自己採点 (月1回) ■人権チェック (4月・10月) ■外部研修 ■上級救命救急資格取得講習
<p>保育スキル研修</p>  <p>←お迎え 対応研修</p>	 <p>←避難訓練研修</p>	

〈1〉2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② ケガ・ケーススタディ研修 ③ 虐待防止研修/人権チェック	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安心・安全を保障するためにケガ・ケーススタディを実施する ・品質マニュアル「保育士による虐待の定義」を用いて保育を振り返る ・人権チェック実施後にグループワーク等を用いて、虐待について深く振り返る
5月17日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 離乳食	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる意欲を育ていけるように、また、保護者に対して的確なアドバイスができるように、離乳食の基礎を学ぶ
6月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 遊び(学び)が広がる環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味・関心・学びを引き出す環境を考える
7月19日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 012歳児の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・012歳児の発達を理解する
8月16日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもをはぐくむ主体的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的とは何か、主体的な遊びとは何か、主体的な遊びが育むものは何かを考え、実践につなげていく

9月20日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもをはぐくむ散歩・ 戸外活動	012歳児にとっての散歩とは何か、 戸外活動で育める力は何かを考え、 実践につなげていく
10月18日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 虐待防止研修・人権チェ ック ③ 幸せとは何か	・品質マニュアル「保育士による虐 待の定義」を用いて保育を振り返る ・人権チェック実施後にグループワ ーク等を用いて、虐待について深く 振り返る ・幸せとは何か、それぞれの思いや 考えを語り合う
11月15日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② チーム保育	保育に必要なコミュニケーション・ 役割等を探り、より良い保育を実現 していく
12月20日	18:00~20:00	② コンピテンシー自己採 点 ② 職場でのコミュニケーション スキル	より良い関係を築くためにコミュニ ケーションスキルを身に付ける
1月17日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子育て支援	子どものよりよい育ちに必要な子育 て支援を考える
2月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 策定会議	今年度の振り返り 次年度の保育計画立案
3月21日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② キックオフミーティング	次年度へ向けての共通理解・チーム 作り

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子 育ての質を上げる 会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士 大学講座および社 内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											

全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デンマークインターンシップ	希望するスタッフが応募

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・子どもの地域の中での直接的な体験を広げていけるように、地域資源を有効活用していく。
- ・子育てサロンや地域交流行事の広報・集客に力を入れ、一つでも多くの家庭に園に足を運んでいただき、一つでも多くの家庭に直接的な支援ができるようにしていく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：豊洲3丁目公園にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	古石場高齢者在宅サービスセンター
異年齢交流	豊洲北小学校 深川第五中学校 都立第三商業高等学校
地域拠点活動	子育てサロン 地域交流行事 子育て講座・子育て相談
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・保育園における遊びや生活の中での子どもの育ちが連続性をもって小学校での発達や学びに繋がっていくようにする。そのために、子どもの発達を長期的な視点で捉え、保育所保育の内容と小学校教育の内容、互いの指導方法の違いや共通点について理解を深めていく。
- ・5歳児の在籍が無くとも、小学1年生を見て知り、逆算した保育を遂行するために、積極的に小学1年生の授業の見学やスタッフ間の意見交換を図っていく。
- ・江東区連携教育の日に出席し、「江東区保育小連携プログラム」を基に、子どもたちの教育の円滑な連携・接続を考えていく。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月7日（火）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
9月頃	豊洲北小学校 1年1組	4名予定	小学校見学（豊洲北小校内）	子ども間交流
11月頃	豊洲北小学校 1年1組	4名予定	園庭遊び（豊洲北小校庭）	子ども間交流
2月頃	豊洲北小学校 1年1組	4名予定	授業参観（豊洲北小教室）	職員間交流

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

対象児童在園時において、家庭での様子や保護者の願いを取り入れながら計画を作成する。また、スタッフ間での情報共有を密にし、必要に応じて、その都度見直しを行う。

〈2〉毎月のケース会議開催

（4～3月に計12回開催予定 参加者：10名予定）

個別支援計画を基に、対象児への支援を深める。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

- ・進級時の引継に関しては、個別記録を基に、子どもの姿を共有する。
- ・小学校への引継に関しては、児童保育要録や必要事項をまとめて、連携を図る。

1.1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月) ~ (土) 9:30~16:30
子育て相談	(月) ~ (土) 13:00~16:30
子育てサロン	毎月第3土曜日 10:00~11:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行

1.2. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2024年9月20日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：13時00分

自己評価終了予定時刻：14時00分

自己評価実施予定者：施設長、0歳児担当、1歳児担当、2歳児担当

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

1.3. 3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<p>【『養護』の徹底と『教育』の追求】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所における教育とは何かを追求していく ・子どもの姿を捉えた計画・環境構築 ・スタッフ主体の園内研修
	振り返り	<p>2023年度は2022年度で学びを重ねた養護を徹底しつつ、教育にこだわりを持って取り組んできた。日々の保育の振り返りや保育記録、スタッフ主体の園内研修（教育・養護と教育の一体的な保育・保育のアセスメント・子ども理解・私が子どもたちのために取り組んだこと）を通して、保育所における教育とはどういったことなのかをスタッフ一人ひとりが考えることができたと感じる。特に毎月の園内研修で共有し合った</p>

	<p>「私が子どもたちのために取り組んだこと」に取り組むことで、日々の保育の中に、より一層、スタッフ一人ひとりの願いや活動・環境のねらい、責任感が感じられるようになった。</p> <p>子どもがやりたがっていること・育てていこうとしているものを応援すること。子どもたちの将来・未来を見据え、こういったことにも挑戦してみたらどうかな？こういった力を身に付けてはどうかな？と提案すること。そして必要な環境を構築すること。これらを教育と表すならば、その教育を行う者としての心構えをスタッフ一人ひとりの胸に育むことができたのではないかと感じる。</p> <p>2024年度も引き続き、そういった心構えを基礎に子どもたちにとって必要な教育を追求していけるようにしたい。</p>
--	---

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	<p>【園に携わるすべての人が『幸せ』を感じられる園】</p> <p>人との関わりのなかで生活する喜びや人生の主人公として歩いていく喜び、日々の生活の中で嬉しい・楽しい・感動などのポジティブな気持ちを抱けるような環境（物的環境・人的環境）が構築されている(子どもにとっても養育者にとっても)。</p> <p>子どもにとっては園で感じた小さな『幸せ』の積み重ねが未来の生きる力になっていくと考える。</p> <p>だからこそ、子どもはもちろん、保護者、スタッフ、地域、園（子ども）に携わるすべての人が『幸せ』を感じられる園となる。</p>
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム保育の追求 ・チームでの計画、実践、振り返り ・保護者の心に入り込む接遇 ・清掃・整理整頓が行き届き、美観の保たれた気持ちのよい施設 ・全スタッフによる気持ちのよい見学・入会対応
2025年度	目指す姿	<p>【真に子どもの『生きる力』を育む大きな家】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の都合で選ばれる・子どもを通わせる園ではなく、子どもに1つでも多くの体験・経験をしてほしいから、「生きる力」を育ててほしいから選ばれる・子どもを通わせたい園となる。 <p>その為にも、スタッフは個々での学び、チームでの学びを続け、自らの「生きる力」を身につける。そして、その学びを通じた保育実践を積み重ね、子どもが自ら「生きる力」を育ていける体験・経験の場を提供する。また、その保育内容を外部に自らの言葉で発信していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も互いに学び合う・育ち合う保育園を目指す
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学び続けるチームづくり ・スタッフの資質向上 ・協働での課題解決・問題解決 ・子どもの最善の追求 ・全スタッフによる気持ちのよい見学・入会対応 ・外部発信内容の強化（ブログ・講座・記録） ・年間を通して入所率100%
2026年度	目指す姿	<p>【社会の変化に合わせ、新しい時代を生きていくために必要な力を育ん</p>

	<p>【でいくことができる園】</p> <p>社会の変化を敏感に察知し、その社会の中で「人間らしく生きる力はどうのような力か」、「人間らしさとはなにか」、「人間として大切にしたいことはなにか」をスタッフ一人ひとりが考えながら、実際にそれらを身につけながら、子どもたちの中にも育ていけるようにする。</p> <p>その為にもチームでしっかりと話し合い、それぞれの思いを共有し、すべてのスタッフが同じ方向を向いて保育に取り組んでいけるようにする。そして、その保育・子育てに保護者や地域を巻き込み、子どもたちのより良い育ちを保障していく</p>
重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同僚性の向上 ・ 学び続けるチームづくり ・ スタッフの資質向上 ・ リーダーや管理職の輩出 ・ 子育て支援 ・ 地域子育て支援拠点事業の強化 ・ 地域資源の有効活用

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 豊洲ルーム 施設長 石原 幸太